

# はっぽう

## 議会だより

最盛期！キャベツの収穫  
(6月中旬撮影)



# 四方八峰 ポンポコ山音楽祭実行委員会

(町を元気にする団体紹介シリーズ) No.5

実行委員長 伊勢 隼人さん

「ポンポコ山音楽祭」は、町村合併前の2001年（H13）にその前身の「峰浜村ポンポコ山夏祭り」をリニューアルして開催されました。プロデューサーに、元オフコースのドラマーで小坂町出身の大間ジロー氏を迎え、全国からバンドを募集し、審査に合格したバンドが出演するというもので、当時としては珍しいイベントでした。

北海道から沖縄まで全国から応募があり、イベント終了時には花火が打ち上げられ、賑やかに開催されていました。

2006年（H18）町村合併に伴い補助金が打ち切りとなりましたが、広告協賛金を募り、規模を縮小して峰栄館で開催しました。しかしそれまでのような集客ができず、資金難もあり2008年（H20）を最後に実行委員会は解散となりました。

その後、2012年（H24）町内で大間ジロー氏のコンサートが開催され、その時に町内の若者グループから、ポンポコ山音楽祭の復活を望

む声が上がリ、再び実行委員会が結成されました。

町の協力を得て、広告協賛金を募り、翌2013年（H25）に再スタートを切りました。しかし休止している間に、県内各地で類似する大規模な野外音楽フェスが立ち上がっており、以前のような集客に至っていない現状です。

そこで、幅広い年齢層に楽しんでいただけるイベントにするため、内容を見直して以前のような賑わいを取り戻したいと、今年の開催に向けて協議を重ねて来ました。

しかし、新型コロナウイルス感染拡大という、誰もが想像することができなかった事態となり、今年の開催を断念したところでした。

伊勢隼人実行委員長は「来年以降開催できる状況になれば、今年できなかった分、町民の皆様楽しんでいただけるイベントにしたい。」と話していました。

(取材 笠原)



ポンポコ山音楽祭

### 表紙の写真

まだ日が昇らない朝4時から始まる、キャベツ「北ひかり」の収穫風景です。鮮緑色で葉が柔らかい春キャベツ「北ひかり」、今年の収穫はもう終わりましたが、機会がありましたら是非ご賞味ください。

● 議会広報編集委員会  
委員長 皆川 鉄也  
副委員長 山本 吉  
委員 山本 良、山本 聡、山本 優、山本 悦子、山本 人、山本 範也

医療技術の進歩をうけて、「人生100年時代」にあっても、自身や人類が健康であること、年齢に関わらず、今、この瞬間を生きている奇跡は、かけがえないことなのだ。感染対策はもちろんですが、大切なことは笑って過ごすことだと思います。笑うことは免疫力アップにもつながりますよ。(記 山本優人)

### 編集後記

今、我々人類は、思いがけない新型コロナウイルスとの闘いに直面している。自粛生活を送っている方、仕事や生活のため外出される方、それぞれだと思えます。日々、得体的に思えない敵の存在を脅威に感じ、自身や町民の無事を祈り、国も町も出来る対策を講じています。しかし、こうした出来事は、改めて「生きる」こと、生き抜くことの難しさ、尊さを痛感させられるきっかけになったのでは。

- 定例会ダイジェスト…………… 2ページ
- 一般質問 目次…………… 4ページ
- 一般質問…………… 5ページ
- 付帯意見回答…………… 11ページ
- 議会全員協議会・  
教育産業建設常任委員…………… 14ページ
- 四方八峰・編集後記…………… 16ページ

6月  
定例会

# 6月定例会 ダイジェスト

6月定例会は6月9日(火)から12日(金)の4日間の日程で開催し、条例改正や補正予算等の議案が上程されました。

そのほか、請願1件、陳情3件を審査しました。

一般質問では、6人が登壇し、町政を質しました。

## ハタハタ館存続に全力支援 観光振興基金から 1,500万円貸し付けを “全会一致”で可決

(令和2年度一般会計補正予算)

**【補正の内容】**  
ハタハタの里観光事業(株)へ無利子・無保証・無担保の貸付金として1500万円。  
返済は、元金5年据え置きで、その後5年返済の10年間。

**【議員から町へ(質疑)】**  
**問** 1500万円の貸し付け。本当に大丈夫なのか。確実に再建できるのか。ハタハタ館なくして八峰町でないような感じで見ているのでコロナよりも恐ろしい最大の危機だ。再建の方策について説明を。

**答** 現在、県の支援策(宿泊券と飲食券の助成等)が県民限定になっている。私としては県外の人も含めて支援できないかと思っているがタイムリングが難しい。まず、経営改善計画をきちつと実行することが条件。

**再質問** (役場)職員挙げて誘客活動に積極的になつてもらうとか何らかの手段をやっていないか、ハタハタ館の職員だけではやりきれないと思う。

**答** 6月2日課長会議を開催した際お願いをしている。町民の皆様可愛されてこそハタハタ館であり、併せて町長としてハタハタ館の方に、心からおもてなしをすることで気持ちよくお客さんを迎えられるようなサービスについても注文をつけていきたい。

**問** これは貸付金だから返済してもらわないと困る。どのような形で返済をする予定か。

**答** 元金5年据え置きで、その後5年で返してもらおう契約書を結ぶ。

**再質問** 5000万円くらい貸してハタハタ館

## 寡婦(寡夫)控除の見直し等の税制改正が承認されました

(専決処分事項の報告について(八峰町税条例等の一部を改正する条例制定について))

**【改正の内容(一部)】**  
合計所得500万円以下で扶養する子どもがいる場合は、性別に関係なく、また、未婚の一人親(シングルマザー)の場合でも住民税で30万円の所得控除が受けられる。

**【議員から町へ(質疑)】**  
**問** 一人親に対する控除が町民税にかかわるものもある。それが19万円減ということだが、国の方で決めているながら地方自治体に税収減の負担をかけるのはいかがなものか。

**答** 今回の税制改正はこれだけでなく様々な分野でいろいろな改正が行われている。これについては、町の税収にどのように影響するか分析していない。

## 「専決処分」に反対します

**見上** 企業版ふるさと納税は、企業が地方自治体に寄附すると税額控除が6割になるという制度である。企業が地方自治体に寄附すると控除額が増えることで、企業と地方自治体の癒着がでてくるのではないか。

また、森林贈与税の見直しは、低額所得者からも消費税と同じように取られるが、環境破壊し二酸化炭素を排出する企業側に負担を求めず、ほとんど国民に求めている。

こういう企業優先、国民には負担が重くなる税制に対して反対をする。

(賛成多数で承認)

## 請願・陳情

### 採択された陳情

**●教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択のための陳情**

(提出者 秋田県教職員組合 執行委員長 櫻田憂子・秋田県教職員組合能代山本支部 支部長 丹藤毅彦)

(全会一致で採択)

衆・参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣に意見書を提出

**●地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する陳情**

(提出者 連合秋田能代地域協議会 議長 石岡真)

(全会一致で採択)

内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、内閣府特命担当大臣(地方創生規制改革担当・経済財政政策担当)に意見書を提出

### 継続審査となった請願・陳情

**●秋田県主要農作物種子条例の制定を求める請願書**

(提出者 食と緑、水を守る秋田県労働市民会議 議長 石田寛 紹介議員 皆川鉄也・芹田正嗣)

**●日米地位協定の抜本的な見直しを求める陳情**  
(提出者 秋田県平和委員会 代表理事 川野辺英昭)

に頑張ってもらったかどうか。建物を新しくしたり、直したりするものではなく、給料もちゃんと出すから前向きな気持ちで頑張ってもらおう。人件費削減では到底立ち行かない。

**答** 基本的には給料は高くないけれども社会保険とかみんなが入っている。

ただ、いざれ数字を出さないとこれからの部分は大変である。

**問** 貸し付けるには返済計画を立てるのは常識だし、何のために貸し付けてどういうふうな返済計画でいくのか、その部分を一筆必ず約束を取ってもらいたい。そしてその内容を(議員たち)示すべきではないか。

**答** 当然契約書を交わす。据え置き5年で5年間で返してもらうことになるが、返さなければ違約金が発生するという通常の契約書をお示し予定である。必要があればその契約書をお示したい。

**問** 商売というものは人と人のつながりが非常に大事。コロナが収まったら一人ずつ順番に10日くらい県外で接遇の勉強をさせてみてはどうか。それが不可能だったら講師を呼んできて勉強させることもできるかどうか。

**答** 会社の方に実行に移すように話しておく。(全会一致で可決)

## 賛否が分かれた議案・陳情の採択結果 ○：賛成 ●：反対

賛否が分かれた議案・陳情を掲載しています。その他の議案はすべて全会一致で可決・承認されました。

議案	議員氏名											門脇直樹 <small>議長は採決には加わりません</small>	議決結果
	水木壽保	山本優人	奈良聡子	腰山良悦	須藤正人	芹田正嗣	見上政子	菊地薫	笠原吉範	芦崎達美	皆川鉄也		
専決処分の報告について(八峰町税条例等の一部を改正する条例制定について)	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	承認

ここが聞きたい

ただ

# 町政を質す!!

## 6人の議員が一般質問

定例会2日目及び3日目の一般質問では6人の議員が町政について質問しました。

### p 5 笠原 吉範 議員

- 1 「第2期 八峰町 まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

### p 6 皆川 鉄也 議員

- 1 洋上風力発電について
- 2 遅れた授業時間のカバーは

### p 7 山本 優人 議員

- 1 財産区管理事務について
- 2 加工企業等の誘致について

### p 8 見上 政子 議員

- 1 利用しやすい庁舎に
- 2 新型コロナウイルス感染対策について
- 3 危険な空き家の撤去について

### p 9 芦崎 達美 議員

- 1 旧塙川小学校体育館の利活用について
- 2 新型コロナ対策による臨時休校で遅れた授業時間を確保できるのか

### p10 奈良 聡子 議員

- 1 能代山本広域風力発電事業について
- 2 新型コロナウイルス感染対応と情報発信について

### 一般質問とは？

一般質問は、議員個人が町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町政執行における所見や疑義について質問できるものです。

本町では、効率的な議会運営のため質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」とし、議員はその内容に添って質問します。質問時間は1人につき質問答弁を含め55分以内で完了することとしております。再質問からは、一問一答方式が採用されており時間内であれば何度でも再質問ができます。

## 第2期創生総合戦略

### いかに達成

### 町長 20の事業にしつかり取り組む

#### 笠原

「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定委員は「第1期創生総合戦略」の委員と比較して、若い移住者や起業者が多く参加しており期待をしていました。しかしその内容を見てみると、第1期創生総合戦略をそのまま引用した部分が多く、目新しい施策に乏しい。

若い策定委員の意見は反映されているのか。目標達成よりも冊子を作るのが目的になっているのでは。

#### 町長

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は国・県・市町村それぞれが人口問題の現状と課題を整理し、人口減少のスピードを抑制しようとするものである。新

創生総合戦略では、将来目標人口を見直し、頑張れば達成可能なレベルである八峰町独自に推計した将来目標人口を設定した。

第1期創生総合戦略に掲げていた事業については、策定委員と意見交換し、効果的な事業は継続することし、効果がなかったり時代の変化にマッチしなくなったものは削除や修正を行った。またこれまで欠けていたと思われる事業を新規に盛り込んだ結果、第1期の30の事業が、5本の新規事業を含む20の事業に絞り込まれている。

第1期の約半分の事業が削除されている。

#### 笠原

「新創生総合戦略」目標達成のための最重要課題と、それに取り組む町長の考えは。

#### 町長

20の事業にしつかり取り組んでいくことと、その結果を毎年検証し、必要に応じて修正や新たな取り組みを加えていくことが大事だ。

人口減少問題は特効薬がない。子どもを増やすこと・若者の定住・移住促進など答えは分かっているが難しい問題だ。結婚から子育てまでの支援・雇用の場を確保する産業振興・福祉や医療・交流人口や観光振興など、総合的な対策に取り組んでいくことが肝要であると考える。



笠原 吉範 議員



第2期創生総合戦略会議風景



山本 優人 議員

**山本** 財産区で取り扱う資金については、財産区の執行機関として町長が財産管理処分を執行し、会計管理者が出納事務を行い、監査は町の監査委員があたり、議決機関として町議会があるということになっている。財産区の自主性を尊重して管理運営を図るとい意味から、

**町長** 財産区特別会計において生じた剰余金は、決算確定後に翌年度予算

**山本** JAやまもとの合併協からの離脱で、市場での販売力が弱まり、農産物の販売価格の低下などが危惧される。農業者の生産物価格の安定を確保するには、生産地であるこの町に加工企業が必要と考える。食の安全や消費者の健康志向にマッチした商品を開発・製造する

**町長** 町内における加工企業の振興と「能代山本関東圏企業懇談会」などにおいて食品加工企業との情報交換に努める。



地元野菜で食品加工を！



皆川 鉄也 議員

## 洋上風力発電への対応は 町長 町民の意見を 法定協議会に

**皆川** 町長は洋上風力発電について健康、景観、漁業に被害を及ぼさないことを条件としているが、まだいずれも具体的な事例や数字等は示されていない。再エネ海域利用法による促進区域に能代市、三種町、男鹿市が、また、準有望区域には八峰町、能

**町長** 町の資源である強い風を元気な八峰町づくりを活用していきたいというのが私の基本的な考え方。八峰町、能代



どうなる？景観

市沖も洋上風力発電事業のため、海域の利用を進める促進区域に承認されれば法定協議会が設置される。その際には町民の関心も高い課題なので地域振興、漁業振興も含め抱える懸念や意見を申し述べたい。

## コロナ感染で遅れた 授業数のカバーは 教育長 学校行事の見直しや 縮減で対応

**皆川** 新型コロナウイルス拡大による全国都道府県緊急事態宣言や全国一斉休校措置で児童生徒の授業カリキュラムが大きく変更された。これによる学力低下等の影響があつてはならず、この遅れた授業時間をどうカバーし回復を図るか。

し、年度末のまとめが多かったことから新学期1週間程度で回復できた。その後の回復措置については標準授業日数35週のところを40週設定していることや学校行事の見直し、縮減を行っているのている。今後再度の臨時休校が無い限り長期休業日の短縮による授業時間確保は必要がないと判断される。

**教育長** 臨時休校措置が年度末、あるいは年度初めとなつたため担任教諭が対応に苦慮したと思うが、各学年の未履修を確認したところ、小学校で7、23時間、中学校では20、30時間であつた。これらについては国語、社会、数学、算数の系統性の高い教科は次の学年で回復授業を実施

## 財産区剰余金は基金に 町長 町が管理するのは 無理がある

**山本** 財産区で取り扱う資金については、財産区の執行機関として町長が財産管理処分を執行し、会計管理者が出納事務を行い、監査は町の監査委員があたり、議決機関として町議会があるということになっている。財産区の自主性を尊重して管理運営を図るとい意味から、

**町長** 町資源である強い風を元気な八峰町づくりを活用していきたいというのが私の基本的な考え方。八峰町、能代

の繰越金として全額計上して、財産区での管理運営については、町から独立した権利を持つ「特別地方公共団体」である財産区が、自らの判断で行う行為と認識している。

**山本** 公金である財産区収入の95%は財産区に支出しているという状況で、その95%の支出の使い方は、

**町長** 地域住民の福祉の増進に使われているが、その

**町長** 沢目財産区という特別地方公共団体の収入であり、その固有の収入を町が条件をつけて使用するのは無理だと思

## 企業誘致は 食品加工業者に絞れ 町長 食品加工企業との 情報交換する

**山本** JAやまもとの合併協からの離脱で、市場での販売力が弱まり、農産物の販売価格の低下などが危惧される。農業者の生産物価格の安定を確保するには、生産地であるこの町に加工企業が必要と考える。食の安全や消費者の健康志向にマッチした商品を開発・製造する

**町長** 町内における加工企業の振興と「能代山本関東圏企業懇談会」などにおいて食品加工企業との情報交換に努める。



芦崎 達美 議員



「指定避難所」に指定されている旧埴川小学校体育館

**芦崎** 農家の機械は年々大型化し、個々の格納スペースも手狭になっており、格納庫を建てるにも、場所や面積等で大変苦慮している。

**町長** 旧埴川小学校の体育館を格納庫として利用させる考えはないか。

**町長** 格納庫として利用する場合、改修工事が必要になる。「地域防災計画」により「指定避難

所」に指定されており、避難場所として必要な建物の保温性等が大きく損なわれることになり、利用することは難しい。

**芦崎** 避難場所とせずして体育館でなくても教室もあり、体育館だけが避難場所ではなくてはならないと思わない。予算はかかるが少しでも農家の支援になると考えられる。

**町長** 予算の問題ではなく、安易に防災計画を変えて体育館を格納庫にすることは慎重にならざるを得ない。避難所

を変えらるれば、大きな説明責任があるため難しい。代替策があるのかどうか若手農業者と話し合ってみたい。

## 休校で遅れた 授業時間の確保は 教育長 長期休校日の 短縮は必要ない

**芦崎** 新型コロナ対策による臨時休校で、遅れた授業時間を今後どんな形で確保するのか。

**教育長** ストレスなどによる体調不良の子どもはいなかったのか。

**芦崎** 手洗い、うがい、マスクの使用などマナーは守られているのか。また、マスクの数は足りているのか。

**教育長** 授業時間に余裕をもつた年間計画を立てていることや、学校行事等の中止や縮小などにより、その時間を授業に充てることができ、長期休校日の短縮等を行う必要はない。

**芦崎** 臨時休校明けは元気がなく、すぐ疲れる様子が見られたが、今は元気に学校生活を送っている。

**教育長** 手洗い・うがいの励行、マスクの着用、定期的な換気で今後も感染症予防を行うよう指導する。マスクの数は奇贈・配布、家庭での手作りなどで現状において足りている。



見上 政子 議員

## 利用しやすい庁舎に

### 町長 待合室は確保できない

**見上** 現在の庁舎に来庁者のための待合室や閲覧室が必要ではないか。

また、入口に「帰りは送ります」のステッカーを張れないか。

庁舎内に議会を中継するテレビの設置はできないか。

**町長** 待合室は面的に確保できない。

ステッカーの張り出しは、バス会社に路線維持を依頼している立



待合室がなく手狭な役場庁舎

場上でできない。

議会のテレビ中継は、実施の方法等について議会側から要望があった場合には協議する。

**見上** 学校での3密の予防対策は。

休校中のオンライン授業などなせもつとタブレット(※)が生かされなかったか。また、インターネット未配線家庭に補助を考えないか。

休校中の学校給食調理員の全額休業補償の考えは。

**教育長** 各校では、うがい・手洗いの励行、マスク着用、定期的な換気を行うなど、また、一部の学年が教室で給食を食べるようにしている。

通学バスは乗車場所の変更で余裕のある乗車数にし、会話を控えることやマスクの着用、換気などで対応している。

タブレットの貸し出しは可能だが、全児童分の台数がなく、家庭のインターネット回線等の設備への補助は、毎月の使用料がかかっていることから難しい。

給食職員の休業補償は状況に鑑み3月中は6割補償とし、4月から全額支給とした。

危険な空き家は何件か。相続人が県外、生活困窮者の場合、解体補助の50万円では対応が無理ではないか。

## 危険な空き家の撤去

### 町長 分割払いの相談に応じる

**見上** 危険な空き家は何件か。

相続人が県外、生活困窮者の場合、解体補助の50万円では対応が無理ではないか。

**町長** 倒壊の緊急度は高い空き家は、30棟ある。所有者が早急に対応できない場合は、八峰消防署の協力で屋根・外壁等の飛散防止の応急措置をとる。持ち主に制度の説明をし、2年、3年の分割払いの相談にも応じる。

## コロナウイルス

### 感染対策は

教育長 うがい・手洗い・換気等



(※)タブレットは板状・薄型のコンピューター。軽量で持ち運びに便利。



奈良 聡子 議員

# 広域風力 利害等町が情報開示を 町長 国の知見なく 慎重であるべき

**奈良** 白神ウインド社は八峰町と能代市の6カ所に高さ147m、羽の直径115mの風車計25基の大規模風力発電を計画中だが、景観や渡り鳥等への影響、悪天候による破損事故、低周波、電波障害等多大な影響が懸念される。事業の是非を住民が判

断できるように、建設予定地や地域に及ぼす利害等、町が積極的に情報開示すべきでは。また、能代市は議会に諮らずに農山漁村再エネ法に基づく法定協議会を設置。当町の見解と本事業へのスタンスは。

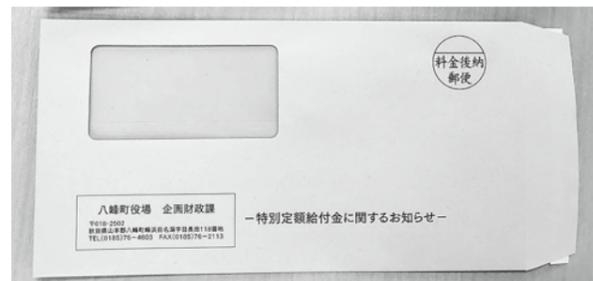
**町長** 事業者の責任で計画の正確な情報が伝えられるものと考えられる。ご指摘のデメリットは国が明らかに関連を示す知見を確認できない、高い専門性が必要、主観により見方が異なる、事業者が現在の法律の枠組内で進めていること等勘案し、町が情報提供することには慎重であるべきだ。能代市の件は別の行政エリアの長がコメントすることではないが、市長とは脱二酸化炭素社会実現への取り組みと、風力発電のようなクリーンな再エネ導入が必要だという思いは共有していると感じている。健康、景観、漁業に影響を及ぼさないこと、事業者の確実な環境アセスの実施を前提に「強い風」を町づくりに活用したいというのが基本的な考え方は。

# コロナ臨時議会 必要だったのでは 町長 「特別定額給付金」 支給に力点

**奈良** 新型コロナへの初期対応は迅速だったが、緊急事態宣言以降は遅く受け身の対応だった。5月12日の全員協議会で提示した支援策を、速やかに臨時議会を召集し、執行すべきだったのでは。

**町長** 指摘は真摯に受け止めたいが、子育て世帯等については、「特別定額給付金」が5月中旬に振り込まれれば一息つけるのではないかと、同時に町のさらなる支援内容をアナウンスでき

れば安心に繋がりが、6月議会対応でいいのではと判断した。まずは「特別定額給付金」をトラブルなく予定通り届けることに力点を置くこととした。「新型コロナ総合対策室」への事業者からの相談がほとんどなかったこともあり、臨時議会は召集しなかった。



現在、トラブルなく給付されている特別定額給付金

# 適切な予算執行に向けて

(予算審査付帯意見回答)

3月定例会で予算特別委員会から、町当局に提出した付帯意見についての回答です。(※回答は令和2年5月22日現在のもの)

## 意見1 防災・感染症対策備蓄品の見直し

今回のコロナウイルス感染症予防対策を受けて、マスク、消毒液などの備蓄品数量の適正化等の見直しを行うこと。

## 答 新たに感染症対策備蓄品を確保

町の防災備蓄計画において、現在備蓄している備蓄品は災害発生直後に必要な物資として食料品等の非常用保存食2950食、飲料水2136リットル、防寒用品の毛布300枚など生活の維持に必

要な物資を備蓄している。今回の新型コロナウイルス感染症の発生を受けて、感染拡大予防としてマスク、消毒液、体温計などの感染症対策備蓄品を新たに必要数量の確保に努める。

また、災害発生時の迅速な対応を図るため、中心的な備蓄場所である役場備蓄倉庫以外に各指定避難所での分散備蓄を行う。



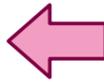
これまでに準備した備蓄品



意見2

ふるさと納税返礼品の充実を

ふるさと納税の受け入れ額が低調であることから、返礼品のメニューを増やすなど、魅力ある返礼品の充実に努めること。



答  
引き続き特産品や体験メニューの追加に努める

平成20年からスタートしたふるさと納税制度だが、受け入れ額については平成29年度をピークに減少に転じている。

返礼品については、

現在参加事業者数13社、返礼品数72品目だが、引き続き参加事業者及び特産品を募集するほか、体験メニューの追加に努める。

また、申込方法につ

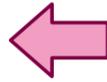
いても、より多くの人々の目に留まるようポータルサイトの複数化も進めていく。



2施設のメリットを生かしながら経営を

意見3  
産直施設の連携を促すべき

産直施設の維持に多額の支出が伴うことから、費用対効果も求められる。産直間の連携を促すなど、安定的な経営の努力を求めること。



答  
両施設と意見交換を行いながら働きかけをしていく

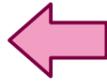
町としては、より効果的な施設の活用が図られるよう適切な維持管理に努めるとともに、

両産直施設との意見交換を行いながら、互いのメリットを生かして相乗効果が発揮されるよう働きかけをしていく。

意見5

遊休施設の有効活用を

空き施設となっている旧埴川小学校等、空き施設となる峰浜地区の埴川子ども園と沢目子ども園について、利用希望者の公募を行うなど有効活用を努めること。



答  
引き続き条件に合致した貸付先確保に努力する

旧埴川小学校については、平成28年度に「旧埴川小学校利活用計画検討会」を開催し、「町内の産業を活性化し経済をより循環させることで、新たな雇用を生み、活気と創造性にあふれたまちづくりを推進するため、産業振興及び地元雇用

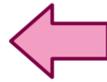
の拡大等に資する利活用を最優先とする」「コミュニティや地域活動を支えるため、地域住民の交流の場の確保にも配慮する」との方向性を決定しているが、校舎及び体育館についても、引き続き上記の方向性に合致した貸与先の確保に向けて努力していききたいと考えている。また、今後空き施設となる峰浜地区の埴川子ども園と沢目子ども園については、利用希望者を公募するなど、遊休施設の有効活用を努めていく。



当町のふるさと納税の返戻品（一部）

意見4  
補助事業に対して追跡調査を

各種補助金・助成金を計上している団体・個人への補助事業について、その事業効果等を議会に報告すること。



答  
事業完了後3年間程度の事業実績を町に報告を求める

町が行う各種補助制度の中には、販売額と生産量などの金額や数量等によりその効果を客観的に検証できるものと、そうした検証に

はなじまない場合があるものと考える。今後は、各補助事業の目的及び性質に応じて、補助事業完了後3年間程度の事業実績を町へ報

告してもらうなど、補助事業の効果を的確に把握することに努めていく。

# 教育産業建設 常任委員会

委員長 山本優人  
副委員長 腰山良悦  
委員 須藤正人、見上政子、  
菊地 薫、皆川鉄也

6月12日定例会終了後、委員会を開催し、「ハタハタ館の運営管理について」話し合いました。

委員からは、ハタハタ館は、今年策定された「経営改善計画」を基本に、赤字解消に向け取り組んで行くことを前提としながらも「経営能力がある人を公募や協力隊で募集したらどうだ」「追加投資してでも母体を変えていかないといけないと思う」「(もし外部委託等になったら)第三者が入って町民がなじめるのか。親しみを持てるのか。町民に愛されないか。」「ハタハタ館と産直を一本にしたらどうか」「社員と話し合いの場を」等さまざまな意見が出されました。

委員会終了後、新たな取り組みの経過を見ながら判断していくことにはなるが将来的には「人材を確保しスタッフを充実させる必要があるのではないか」「事業改善計画自体後ろ向きで、他施設のリニューアル等の外的要因の列記が目立つ」「とにかく現状のままでは赤字体質からは抜け出せない」「議会全員協議会での話は理解した。しかし、経営改善計画どおりにいかなかった場合、民間から経営トップを人件費をかけても募集する。レストランについて外部委託も検討するべき。」という旨を町長及び議長に報告しました。

## 議会全員協議会から **ハタハタの里観光事業(株)への経済支援について**

当町では、5月12日(火)及び5月26日(火)に議会全員協議会が開催され、町からコロナウィルス感染症(予防・経済支援)対策や野菜集出荷施設の無償譲渡等について説明がありました。  
その中で、ハタハタの里観光事業株式会社(ハタハタ館)への経済支援についてお知らせします。

### 町からの説明

#### ●ハタハタ館に対する町の基本的な考え方

①ハタハタ館は町の観光振興の大きな拠点であり、知名度的にも「八峰町といえばハタハタ館」と言われるほどであり、町としては守っていかなければならない施設。

②今回のコロナウィルス感染症は未曾有の災い。

この厳しい状況乗り越えるべく、国や県の支援策に加えて、町としての緊急的な経済支援が必要。

③ハタハタの里観光事業(株)には次のことを要請済。

- ・町民への感染リスクを少なくするため、感染防止を徹底するとともに、特に県外客の受け入れについては、「八峰町新型コロナウイルス対策本部」と連携を取りながら営業すること。
- ・従業員を解雇させないための国の「雇用調整助成金」や「持続化給付金」を活用すること。
- ・資金繰り対策のため無利子、無保証、無担保の「経営安定資金」の借入れを検討すること。
- ・県や町が予定している観光振興策を多く取り込めるような観光プランを検討すること。
- ・慢性的な赤字解消に向けた「経営改善計画」を確実に実行すること。

#### ●町としての対応

- ①今年度の指定管理料の前倒し
- ②八峰町観光振興基金(1,500万円・無利子)の貸し付け
- ③事業継続臨時交付金(1事業所20万円)

#### ●現在検討している今後の経済支援策

- ①町内宿泊施設を対象とした助成事業
- ②飲食にも使用できる高率のプレミアム商品券発行事業
- ③支払いを猶予している水道、下水道料の減免



#### ●宿泊、宴会等のキャンセル状況と影響額

区分	延べ人数(人)	影響額(千円)
宿泊	509	4,188
宴会・仕出し等	1,035	3,933
合計	1,544	8,121

#### ●前年同月売上額の比較

(単位:千円、%)

区分	令和2年売上額	前年売上額	増減	増減率
2月(税抜)	10,299	8,839	1,460	16.5
3月(税抜)	7,501	10,106	▲2,605	▲25.8
4月(税込)	3,387	14,189	▲10,802	▲76.1
合計	21,187	33,134	▲11,947	▲36.1

### 議員から町へ(意見・質疑)

(一部抜粋)

**質疑** 町独自の補助金を出せないのか。

**答** 運営費補助金は出せない。

**意見** コロナウィルスを取り除いても、経営の方向をみんなで検討する機会を設けるべき。

**答** コロナがなくても昨年同様に厳しい状況である。今月(5月)に株主総会があり、経営改善計画を説明し、その後議員の皆さんと協議する機会を設ける。

ただ、現時点で経営が厳しい状況であり、町としては支援していきたい。

**意見** 全国的にハタハタ館のような温泉施設はたくさんある。どうやったら認めてもらえるかを考えると「食」。「食」といえば「魚」だと考える。「食」の質を落とすこと、そして人員削減でサービス低下は絶対招いてはいけない。

**意見** ハタハタ館はなくせない施設であり、協議が必要。料理については魚に統一すべき。

**答** 幹部とも意見交換し、協議の場を設ける方向で進める。

**意見** ふりだしに戻り町民に愛される親しみある施設でなければならない。エリアをどうするかも含め抜本的な対応が必要であり、駄目ならやめてほしい。

**答** エリアについては、北の玄関口と認識している。道の駅指定についても進めており、エリアの中心施設としたい。施設がなくならないよう危機的状況乗り越えていきたい。